

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号：26-15

補助事業名：平成26年度 プラント設計データ電子化の標準化推進補助事業

補助事業者名：一般財団法人エンジニアリング協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- ・競合他国の進めている標準化検討の場への積極的な参画機会を提供する。
- ・国内外の有識者を交えた有益な議論の場を提供する。
- ・国際標準ガイドラインを作成し、公開する。

(2) 実施内容 (<http://www.ena.or.jp/jka-subsidy-business/h26>)

海外プロジェクトに参画する企業からの専門家を中心に現状分析を行う。その分析を通じて、求められる引き渡し業務の範囲、対応の指針等からなるガイドブックの骨子について検討を行い、この検討結果に対し、機械工業界内外の有識者のレビューを受け、その内容のブラッシュアップをはかってきた。

さらに国際会議への積極的な参画を含む国際的な連携を通じて、図書はもとより、電子データに関するIT成熟度の検討が重要であること認識されていることから、「IT成熟度モデル解説書」を作成し、Webからのダウンロード、紹介セミナーの実施等により、業界への啓蒙・普及活動を実施する。

この活動を通し、我が国機械工業界の国際競争力の強化に寄与する。

2. 予想される事業実施効果

国際会議への積極的な参画を含む国際的な連携を通じて、図書はもとより、電子データに関する総合的な引渡しに係る我が国に有益な「国際標準ガイドライン」を策定・標準化をおこなってきた。

また 機械工業界としての顧客への電子データの引渡し要求に対し、柔軟な対応能力を評価、発展させることができるようにするため「IT成熟度モデル解説書」を作成し、それを機械工業界や客先へ啓蒙・普及させる活動を進める。

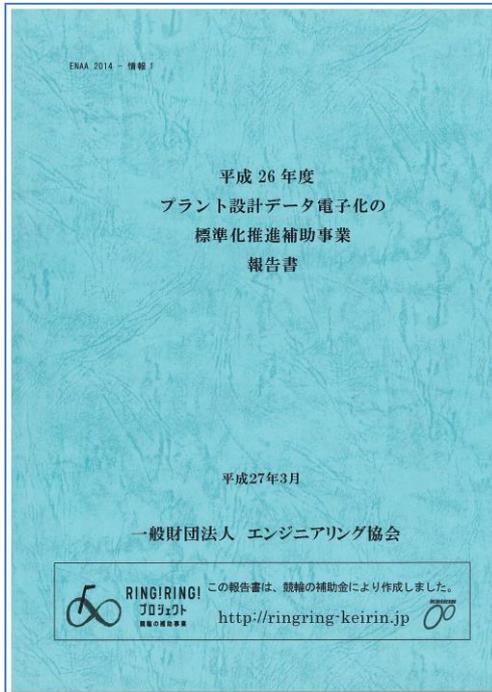
これらの活動により、我が国のエンジニアリング能力の高度化を図り、機械工業界の国際競争における更なる優位性の確保が期待できる。

3. 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの (<http://www.ena.or.jp/?fname=26-15.pdf>)

平成26年度プラント設計データ電子化の標準化推進補助事業 報告書

平成26年度プラント設計データの電子化に関する標準化補助事業 報告書の表紙と目次



目次	
序	
委員名簿	
第1部 活動報告	
第1章 目的	1
第2章 現状分析	2
2.1 現状調査のスクーブ	2
2.1.1 国際会議での調査	3
2.2 標準化の状況	9
2.2.1 国際標準	10
2.2.2 国際標準化を準備中のプロジェクト	13
2.3 各国の状況	14
2.3.1 米国	14
2.3.2 欧州	15
2.3.3 韓国	16
2.3.4 中国	16
第3章 IT成熟度	17
3.1 成熟度評価の目的	17
3.2 検討内容	17
3.2.1 「O/O」ビューのレベル	18
3.2.2 「EPC」ビューのレベル	18
3.2.3 「機器供給者」ビューのレベル	19
3.2.4 EPCから見たO/Oとの関係	19
3.2.5 EPCから見た機器供給者との関係	21
3.2.6 EPCにとっての成熟度判定の活用	22
第4章 ガイドライン	23
4.1 プラント設計データチェックリストの活用	23
第5章 これまでのまとめ	28
第6章 まとめ	29

第2部 添付資料編	
第1章 活動概要(事業の実施状況)	31
1.1 実施経緯	31
1.2 実施内容	31
1.2.1 委員会活動	31
1.2.2 国際会議参加	31
第2章 国際会議での出席報告	33
2.1 67回 Philadelphia会議での調査報告	33
2.2 68回 Belfort会議での調査報告	35
2.3 DIG Meeting 2014会議での調査報告	39
第3章 用語集	44

第3部 Executive Summary	47
第1章 本論	47
1.1 プラント設計データの電子化にあたって考慮すべき点	47
1.2 IT成熟度	47
1.3 IT成熟度の考え方	48
1.4 CEM	48
1.5 GEN ORCHID Roadmap	57
1.6 プラントエンジニアリングにおけるIT成熟度	60
1.7 プラント設計データ電子化の過程	60
1.7.1 全体概要	60
1.7.2 顧客側での要求仕様作成の過程	63
1.7.3 エンジニアリング会社側での過程	64
1.7.4 顧客での情報活用過程	65
1.8 「EPC」のビューから見た成熟度の活用と検討	65
1.8.1 検討内容	65
1.8.2 「O/O」ビューのレベル	65
1.8.3 「EPC」ビューのレベル	66
1.8.4 「機器供給者」ビューのレベル	66
1.8.5 EPCから見たO/Oとの関係	67
1.8.6 EPCから見た機器供給者との関係	68
1.8.7 EPCにとっての成熟度判定の活用	70
1.9 プラント設計データチェックリスト	70
1.10 プラント設計データチェックリストとIT成熟度	75
1.11 これまでのまとめ	75
1.12 まとめ	76
第2章 資料編	78
2.1 用語の定義	78

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし。

4. 分科会活動状況

準備会、臨時開催などを含め11回の分科会を開催した。(以下写真抜粋)



5. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人エンジニアリング協会

住所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-18-19 (虎ノ門マリビル10階)

代表者： 理事長 佐藤 雅之 (サトウ マサユキ)

担当部署： 総務部

担当者名： 部長代理 亀井 秀次 (カメイ ヒデツグ)

電話番号： 03-5405-7201

F A X : 03-5405-8201

E-mail : kamei@ena.oro.jp

URL : <http://www.ena.or.jp>